

しおんだより VOL.23



より良い病院作りは、よりよい経営から

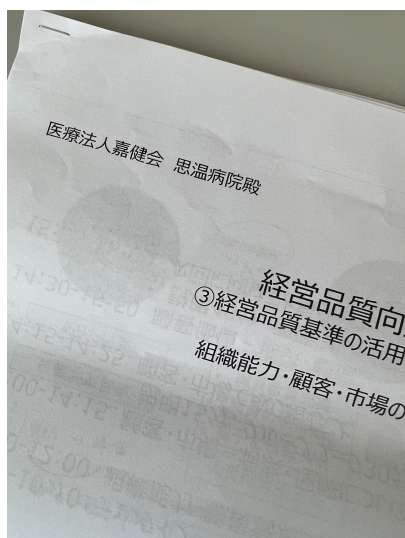
「この病院に来て、良かったです」そんな有り難いことばを、時々いただくようになってきました。私自身がいただくこともありますし、こういうことがありましたと、職員からの報告を聞くこともあります。

「思温」という言葉の意味を考えながら、職員一人一人が、自分がこの仕事を目指した時の気持ちも思い出し、**「思温病院があるから安心、安全とと思っていただくこと」**を目指して行動していけば、きっと良い病院作りはできるはず。そんなことを考えながら取り組んで来ましたので、本当にうれしいことです。

しかし、課題はまだたくさんあります。むしろ、スタート地点に立ったばかりだ、という方が正しいかも知れません。地域の方々に信頼される病院運営を目指すためには、私たちが行っていることを、第三者の視点から評価していただくことが重要だと考え、以前より、公益財団法人日本医療機能評価機構の機能評価を受けてきました。これに加え、より良い病院作りは、よりよい経営からという考え方のもと、現在、公益財団法人日本生産性本部による経営品質向上の取り組みを行っています。

月に1回、各部署の役職者が集まって、朝から夕方までみっちり話をしています。日常業務での課題を改めて考えながら、より良い病院作りへ知恵を絞っています。

経営品質を高めることで、患者さんにより良いサービスを！



経営品質を高める、といっても、たくさんの利益を出すことを目指すことではありません。日本の制度でも、医療法人は、非営利であることが明確に規定されています。ただ、非営利といっても、ボランティアではありません。

良い医療を行うためには、様々な医療機器や専門的な知識と技術を持ったスタッフが必要です。さらに、医療、看護、介護の手技や手順がきちんと確立され、日々、向上するような教育の仕組みも不可欠です。当然ですが、これらには、きちんとした原資（＝お金）が必要で、これは、日常業務を通じて生み出していくべきものです。

「利益とは継続的発展の未来創造費用である」という言葉通り、当院がより良い経営と、より良い医療を提供し発展していくことで「**地域の方々に思温病院があるから安心・安全とさせていただくこと**」という私たちの理念に近づいていけるはずです。是非、私たちのこれからを温かく見守っていただければ幸いです。

私たちがくまモンに癒やされるのには理由があるそうです



先日、学会に参加するために出かけた熊本で見かけた巨大くまモンの顔。熊本駅のコンコース内に鎮座しています。

くまモン。ご存じない方は、いらっしゃらないのではないのでしょうか。私も、結構いい年ですが、ちっちゃなぬいぐるみやピンバッジなどのくまモングッズも持っていますし、街で見かけると、可愛くてついつい写真を撮ってしまいます。そのくまモン。他のいわゆる「ゆるキャラ」もたくさんあるなかで、圧倒的な人気を誇るのには理由があるのだそうです。

それは、顔のパーツ（目や、鼻、口）のレイアウトが、すべて、人間が美しいと感じる黄金比で設定されているのだそうです。時々、くまモングッズで「なんか違う」と感じるモノは、この黄金比が崩れているのだとか。あの愛らしい顔に、そんな仕掛けがあったとは…。詳しくは、ネットで「くまモン 黄金比」で検索してみてください。結構、面白い情報が一杯でてきますよ。（文責：狭間研至）

しおんだより 第23号 発行日：令和4年9月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: www.shion-hp.or.jp